

## 音楽科学習指導案

研究主題

### 伝えよう、私の音楽、私の心

<研究の視点>

視点1 一人一人の思いや意図をもつために

視点2 自分の思いや意図を表現するために

視点3 評価を生かした指導をするために

日時 平成24年11月20日(火) 14:00～

場所 授業：1階 1年4組  
協議会：2階 図書室

授業者 高橋 芽以

展開学級 1年4組

千葉市立幕張西小学校

# 第1学年4組 音楽科学習指導案

指導者 高橋 芽以

- 1 題材名 「ようすをおもいうかべよう」  
教材名 「おどるこねこ」 アンダソン 作曲  
「はる なつ あき ふゆ」 三浦真理 作詞・作曲

## 2 題材について

本題材の重点は、音楽を想像豊かに聴いたり、思いをもって表情豊かに表現したりするところにある。これまでの学習で身に付けた、音楽を表現する上で必要な拍の流れやリズム、旋律、音色に対する感覚を生かして表現し、さらに豊かな感性を育てたい。

鑑賞教材「おどるこねこ」は、身近な動物である猫を題材として描写的につくられている。そのため、場面の様子を想像したり、変化を感じ取ったりしやすい。まず、猫の鳴き声を手掛かりに、場面の様子の変化を感じ取る。さらに、音楽に合わせて体を動かすことで、音楽の変化を感じる。また、場面ごとに音楽の感じを話し合い、速さや音色の変化にも気付かせていきたい。

「はるなつあきふゆ」では、季節ごとのイメージを膨らませたり、歌詞の中の一つ一つの言葉から様子を想像したりして、歌い方の工夫を楽しむ。歌詞の言葉から感じ取った色や大きさや形、様子などのイメージを大事にし、体で表現しながら、歌い方を考えていきたい。さらに、児童の作った詩をもとに、季節をテーマにしたお話を教師が作った。そのお話をういて、様子に合った音楽づくりを行う。言葉から感じ取ったイメージを音に表し、速さや強弱、音色を工夫して表現する。この学習を通して、自分の思いを音楽で表現する楽しさを味わわせたい。

## 3 題材の目標

- 楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いをもって表現したりする。
- 様子に合う音を探して、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくる。
- 歌詞の表す様子や気持ちを想像して、歌い方を工夫する。

## 4 評価規準

- ア 「こう表現したい」という思いをもって、すすんで表現しようとしている。
- イ 歌詞や絵から様子を思い浮かべて、表現を工夫している。
- ウ 楽曲のイメージや自分の思いが伝わるよう、表情豊かに歌ったり演奏したりしている。
- エ 楽曲の気分を感じ取って聴いている。

## 5 指導計画

- |    |                  |                                 |
|----|------------------|---------------------------------|
| 1時 | 「おどるこねこ」         | ○楽曲を聴いて、想像したことや感じ取ったことを言葉や絵に表す。 |
| 2時 | 「はる なつ<br>あき ふゆ」 | ○様子を思い浮かべて、イメージを生かしながら表情豊かに歌う。  |
| 3時 |                  | ○自分たちが作った詩を組み合わせた簡単なお話に合った音を選ぶ。 |
| 4時 |                  | ○お話のイメージに合うように、表現を工夫しながら音楽を作る。  |
| 5時 |                  | ↓                               |
| 6時 |                  | ○イメージが伝わるように演奏の練習をし、表情豊かに演奏する。  |

- 7時「発表会」 ○工夫を生かし、思いが伝わるように演奏する。  
○各グループの演奏から、表現の工夫やその面白さに気付いて聴く。
- 国語「ことばあつめ」 ○春夏秋冬、各季節でイメージする言葉や気持ちを考える。  
「みじかいことば ○自分の好きな季節の言葉について、擬音語や擬態語を使って詩を  
であらわそう」 作る。

## 6 視点とのかかわり

### 《視点2》自分の思いや意図を表現するため

音楽づくりにおいて、自分のイメージした音を見つけるためには、基本的な楽器の奏法を知った上で、様々な音との出会いが必要であると考えます。前題材では、タンバリン、トライアングル、すず等の楽器の基本的な奏法を体験した。この経験を地盤として、別の奏法を考えたり、「強弱」や「反復」などの工夫をしたりして様々な奏法や音色に気付かせた。また、楽器や身近なものを使って自由に音を鳴らす音遊びを通じて、多様な音色を感じさせた。さらに、朝の会や帰りの会に、身体表現やリズム遊び等の音楽遊びをしながら、「強弱」「速度」「音色」などの音楽を特徴付ける要素や音楽の仕組みに気付かせた。本題材の鑑賞の学習では、「速度」や「音色」に気を付けて聴き、それによって感じる気分を大事にすることで、音楽を特徴付ける要素とその働きを感じ取らせた。

「はるなつあきふゆ」の音楽づくりでは、児童が自分の思いを取り入れて音楽づくりができるよう、国語の学習で作った児童の詩をもとに教師がお話を作った。これまでに体験したことを生かして音楽づくりができるよう、強弱をイメージしやすい言葉を入れるなど意図的に話を組み立てた。

また、国語の学習で、季節折々、感じたイメージを言葉にしたり、擬音と結びつけたりして、音に表しやすくした。

## 7 本時の展開

(1) 目標 ○自分のイメージを伝えるために、工夫して演奏する。

(2) 展開 (7/7)

学習内容と学習活動	教師のかかわり	備考
1. 「はる なつ あき ふゆ」を歌う。 ・様子を思い浮かべながら歌う。	○これまでの学習を振り返り、どのように歌うのかを確認する。 ☆音色、強弱、速度	拡大歌詞
2. 前時までの学習を思い出す。 ・イメージに合った音を探す。 ・様子に合うように楽器のならし方を工夫する。 ・お話と音を組み合わせる発表会をする。	○掲示物を見ながら、これまでの学習を振り返るようにする。	学習計画表 拡大楽譜

<p>3. 本時の目標を示す。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">1の4きせつおんがくはっぴょうかいをしよう</div>		
<p>4. お話と作った音を合わせて発表しよう。</p> <p>(1) はる            は            な</p> <p>(2) なつ            る            つ</p> <p>(3) あき</p> <p>(4) ふゆ            ふ            あ</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>ゆ            き</p> </div>	<p>○スムーズに発表できるよう、発表の仕方を確認する。</p> <p>○よかったところを探しながら聴けるよう、聴き方を確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>ウ 思いが伝わるように、工夫を生かして演奏している。</p> <p>&lt;演奏聴取&gt;</p> </div>	<p>楽器</p>
<p>5. 発表したグループのよかったところを話し合う。</p> <p>(グループごとに区切る)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんのすずの音が、だんだん近づいてくる感じがしました。</li> <li>・みんなで楽器をならしているから、大騒ぎしている感じがしました。</li> </ul>	<p>○音についての気づきは、もう一度鳴らして、みんなでイメージしながら音色を味わうことができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">☆音色、強弱、速度</p>	
<p>6. 振り返りをする。</p>	<p>○自分のイメージが伝わるように、歌ったり演奏したりできたかを、確認する。</p> <p>○友達の演奏から、気に入った音があったかをきく。</p>	